

# くらし・福祉・教育を最優先にする県政へ力を合わせてチェンジ 石田清人さんが知事選の共同目標と重点目標を語りました

憲法をくらしに生かす県政の会は、7月の知事選挙の候補者として石田清人さんを発表しました。

石田さんは5月31日に開かれた、利根沼田地区の「知事選勝利スタート集会」で、学校給食費の無料化や医師の確保と過疎地域への医師派遣、デマンド交通の推進で車がなくても安心してくらしをまちづくりなどの政策を語りました。



集会では、教育関係者や新婦人、沼田民商の団体などから、くらしと憲法・平和を守る県政に変えようと訴えがされました。

## 低所得者の介護保険料が軽減されます

10月から予定されている消費税の増税にあわせ、低所得者（介護保険料所得段階区分の第1段階～第3段階）の介護保険料を引き下げる条例改正が6月定例会市議会に提案されました。

介護保険料の引き下げは、今年度と来年度の2ヶ年おこなわれ、第1段階は33,400円を今年度は27,800円、来年度は22,200円に、第2段階は52,000円を今年度は42,700円、来年度は33,400円に、第3段階は55,700円を今年度は53,800円、来年度は52,000円に引き下げられる予定です。



## 上原町自主防災会で防災講演会

上原町自主防災会は5月31日に総会を開き、今年度の事業や救出・救護班や避難誘導班、給水給食班などの組織体制を決めました。

総会後には、市防災対策課の石坂防災専門官による講演会がおこなわれました。

講演会では、災害発生時に地域での取り組みと防災意識を日ごろから一人一人が持つことの大切さが話されました。



## 街なかにバラと歌声 上之町でなかみち祭

今回で第6回目となる「上之町なかみち祭」が2日、上之町会館や会館前の道路で開かれました。

会館前の道路では、バラの展示や苗の販売、JA利根沼田による野菜販売、上之町商店街のライスカレーやレモンうどんなどの屋台が並び、多くの人々が訪れました。



上之町会館では、「そう列車がやってきた」やバンド演奏、祇園囃子など多彩な出演者が参加した、「バラのコンサート」も開かれました。

2019年6月9日

NO. 609

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

**やまびこ**

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料

# こんにちは 大東のぶゆき です

こんにちは。政府の経済財政諮問会議や財務省の財政制度等審議会では、「国保の財政運営」が主要議題の一つに据えられ、国民健康保険税の住民負担軽減のためにおこなわれている市町村独自の財政繰り入れをやめさせることが強調されているなど、安倍首相は国民健康保険税の引き上げへ自治体に圧力をかける議論をすすめています。

5月31日の経済財政諮問会議には経団連の中西宏明会長らの連名で、国保税の値上げにつながる「都道府県内の保険料水準の統一」の促進などを求める文書が出されるなど、高騰する国保税に住民が苦しめられている状況は置き去りにされています。

国保の加入者は、低所得者が多いのに保険料は、「協会けんぽ」など他の医療保険と比べ高く、全国知事会などは国からの公費投入を増やし国保税を引き下げること要望し、1兆円を投入すれば年収380万円の4人世帯で全国平均約15万円引き下げられ、国の国保への財政投入こそが必要とされています。



## 続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その二十 砂川のお不動様

姓氏が同じ家が集まって同じ信仰を持つことを同族信仰といい、一族の結束を固めるうえで重要な役割を果たしていたと考えられています。



砂川の石田一家では、不動様を同族の祭神として祀り、お堂は墓地のなかにあり、貞享5年(1688)や万延元年(1860)の庚申塔、天明2年(1782)の百番供養塔、六地藏などがあります。

お堂には何枚もの棟札が残されていたようで、最も古いものは明和8年(1771)3月のものだったといわれ、猟師が鉄砲で的を射た額も上げられていたようです。

明治33年(1900)の砂川には、11人の猟師がいて、当時の赤城根村では根利のつぎに猟師が多かったようです。

### 輪久原の道切

道切は、八丁締めとも言われ、厄神除け、疫病除けとして村の入り口に大きな草履を長い縄で吊したもので、群馬県や栃木県に多く見られる風習だと言われています。



輪久原の入り口には、今も道切の草履が吊されています。